

仕様書

1. 件名

英文論文誌 Journal of the Ceramic Society of Japan (以降 JCS-Japan とする) 制作

2. 規格

英文 A4 判

本文、グラフィックコンテンツ(目次)ほか、1400 頁 (毎号の頁数変動あり)

表紙年間 12 頁

原著論文年間 250 編、1 編 5-6 頁程度、3 頁 (Express letter) ,10 頁程度 (Review) のものが入る場合もある。図表は 1 編あたり約 8 個とし、表組みに関しては原稿より新たに制作する。

(図表数量に関しては変動あり)

3. 数量

1 回当たり 5,200 部、年間 12 回、合計 62,400 部

4. 原稿

①目次、書誌情報、本文、図表等を原則電子データとして提供する。本文、図表に関しては J-stage よりダウンロードすることとし、状況に応じて紙原稿で提供する場合もある。

②投稿規定及び執筆要領があるが、使用ソフト及び入力文字データ書式の指定はない。

著者使用ソフトは、文字は MS-Word、図表は MS-Word 及び PowerPoint を用いたものが主であるが、その他、特殊なソフトの場合もある。

③直近号と査読済原稿 1 編を見本として提供する。見積もりの後返却のこと。

④原稿入稿は発行日の 30~60 日前に掲載号決定次第、順次入稿する。

⑤データ作成に当たっては組版等印刷体発行に必要な処理の前段階で必ず行うこと。

⑥書誌情報に、DOI(註: CrossRef 基準の論文識別番号)等の追加入力をする。

5. レイアウト

表紙: 1 年間、同一デザイン (見本参照)

本文: 横 2 段組 9 ポ、行間 11 ポ、51 字×63 行 (見本参照)

6. 用紙

本文用紙 マット紙 ガイナマット L A 判 Y/35kg

表紙用紙 片面アート紙 OK 金藤片面 菊判 Y/93.5kg

7. 印刷

オフセット印刷 (ランダムに 4 色刷指定あり)

カラー頁数は年間 10~15 頁

8. 製本

無線綴並製本

9. 校正

文字 2 回以内並びに色及び図表・写真校正 (2 回以内)

著者校正原則 2 回、編集事務局校正原則 1 回。初校正 (著者校正) は入稿後 1 週間以内とし、印刷会社より e-mail にて直接著者校正をする。

校正作業などに使用する、大容量のデータ送受信ができる https サーバ (SSL にて暗号化され

た通信)を印刷会社にて準備する。

1 0. 納品期限

毎月 1 日 (校了後、中 4 営業日にて指定箇所に納品)

平成 2 2 年 4 月～平成 2 4 年 3 月

JCS-Japan 第 118 巻 第 1376 号から第 120 第 1399 号まで

1 1. 納品物

①冊子 5,200 部 (見込み)

②電子ジャーナル用 PDF ファイル (J-STAGE 各論文へのハイパーリンク付き PDF) 並びにメタデータファイル (PDF 及びメタデータファイルは、J-stage 仕様に沿って作成の上、J-stage サーバへアップロードをもって納品とする。)

③グラフィックコンテンツ (目次) PDF、及び txt ファイル (タイトルサービス用)

④毎月の論文 PDF ファイル (協会保管用)

⑤別刷

1 2. 納品場所

社団法人 日本セラミックス協会および、指定された発送業者 (印刷媒体は 2 箇所へ納品)

※一部は J-stage サーバ

1 3. 留意事項

①総額を記載して入札書及び組版代、製版代、印刷代、用紙代及び製版代の内訳金額を明示した見積書を提出する。

②落札は本仕様書に基づく見積総額及び内訳毎金額の総額を考慮して決定する。

③印刷会社の責任による損害及び納品時の検査で判明した改善費用は印刷会社が負担する。

1 4. その他

(1) 入稿原稿の取り扱いについての注意点

①入力文字データで、日本語フォントを主とする全角文字入力や英語以外の記号、数式及び特殊文字などがあるので、適切に変換する。費用は「組版代」に計上する。

②図版はイメージスキャナー入力等により作成し、データはデジタル化すること。
費用は「組版代」に計上すること。

③入稿原稿はカラー原稿でも、最終印刷は白黒の場合があり、色調整作業を含む場合がある。
カラー原稿は色調整作業を含む場合がある。いずれも、費用は「組版代」に計上する。

④白黒原稿でも写真などは、印刷時の鮮明度を確保する調整作業を含む。

⑤J-STAGE 搭載用に、それぞれの論文の PDF 納品用メタファイルを作成。費用は「組版代」に計上する。

(2) 表紙

表紙は、1 年間同一デザイン (4 色刷り)。費用は、「製版代」に計上する。

(3) J-STAGE (注: 科学技術振興機構の学術誌電子ジャーナルポータルサイト) 掲載データについて

①JCS-Japan は、発行と同時に、オンラインで公開する。

②書誌事項は J-STAGE 用 SGML、TeX 形式、及び Bib 形式で入力する。

③書誌事項には論文アブストラクトと引用文献を含む。

④書誌事項は、電子ジャーナルでの検索ができるように、項目毎に必要なタグをつける。

⑤本文用ファイルはテキスト埋め込みの PDF 形式とし、図及び写真の解像度は 600dpi(白黒)以上とする。冊子体印刷後の誌面のデジタル化（スキャン）は不可とする。

(4) 別刷作成

①見積の条件は、全論文につき表紙なし 25 部の別刷を印刷する。著者の希望により 50 部単位、表紙の有・無、で別刷の追加印刷がある。別刷は、宅急便にて著者へ直送をもって納品とするが、送料は入札価格に含めないこと。

②別刷作成は、冊子体と同じ品質であれば本印刷時に作成しても別の印刷機で作成しても良い。表紙をつける場合、その論文のタイトル、著者名、所属先を印刷する。

(5) 付随条件（JCS-Japan を制作する印刷業者は下記①～⑤の校正業務を合わせて行う。

また、見積書はこの①～⑤の業務のみを別途提出することとし、

単価/1 ページ×年間発行予定ページ数 1400 ページ＝年間総金額を提出する。

印刷会社決定はこの業務の金額も含めたうえで決定することとする。

①著者校正前に、セラミックス協会が別途定めた校正マニュアル*に従って論文が書かれているか印刷会社にて内校正をする。もし、校正マニュアルのとおり著者が記載していない場合、著者校正 PDF にその旨を記載して、著者校正時に著者に確認をする。

② 著者校正は国内・海外を問わず印刷会社にて e-mail 等を用いて著者に直接行う。

③ 海外著者へは英語にて校正を行う。そのため国内・海外著者との連絡を e-mail 等を用いて、英語で行うことができることとする。

④著者からの校正帰りは直接印刷会社に e-mail、FAX、PDF 等で返送され、印刷会社にて訂正をする。

⑤編集事務局校正については原則 1 回とする。

*セラミックス協会が『別途定める校正マニュアル』については事前確認が必要な場合、セラミックス協会までご連絡ください。